

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 30 日

京都府知事 様



提出者

住 所 京都府福知山市長田野町3丁目26番地

氏 名 SECカーボン株式会社京都工場

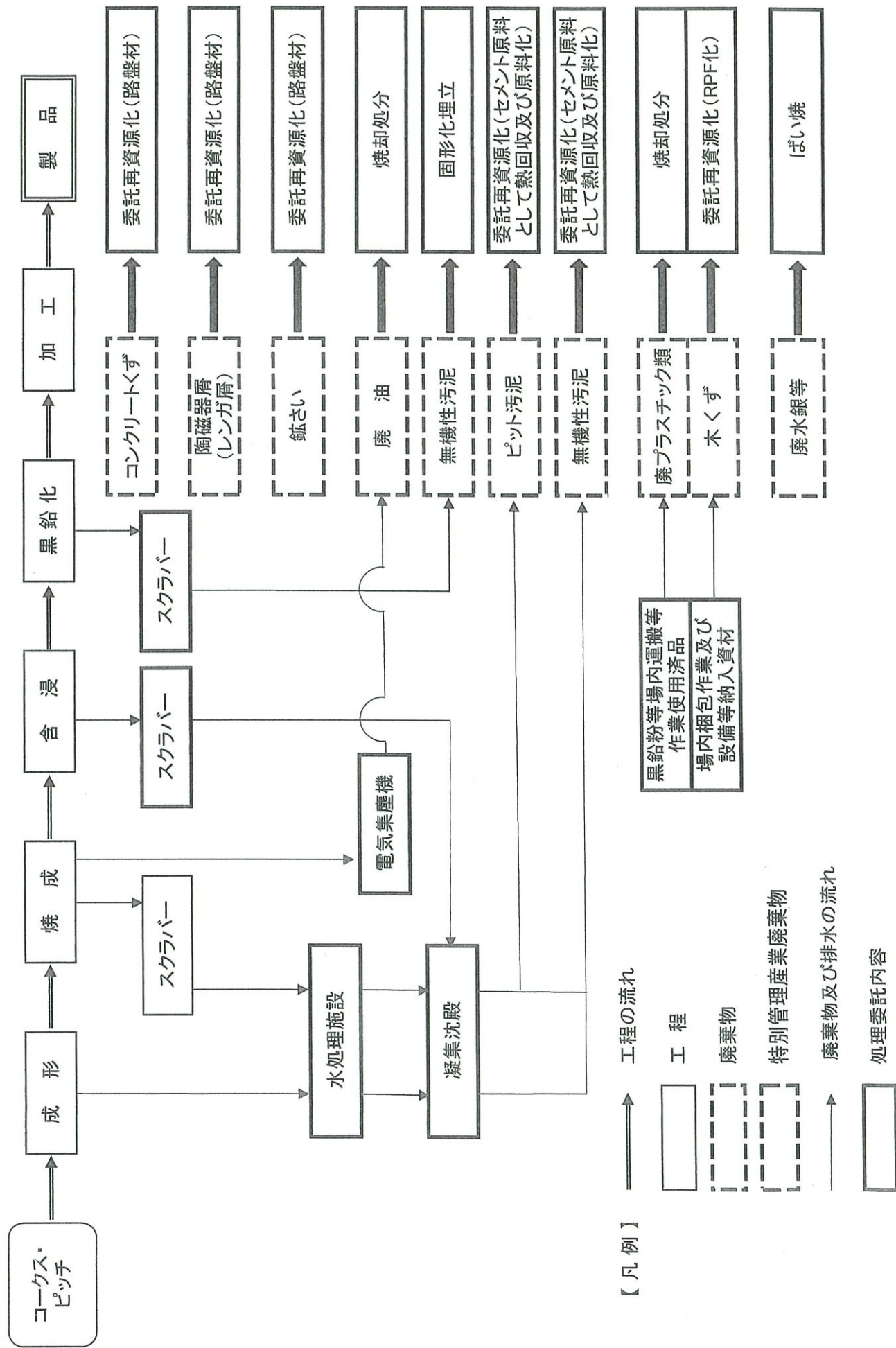
取締役執行役員京都工場長長谷川和重

電話番号 0773-27-2411

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	SECカーボン株式会社 京都工場
事業場の所在地	京都府福知山市長田野町3丁目26番地
計画期間	令和7年4月1日より令和8年3月末日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	30,401百万円
③ 従業員数	232名(2025年6月24日時点)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別記の通り

製造工程及び廃棄物発生工程図



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別記の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別記の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 優良認定業者への処理委託		
② 計画	【目標】 別記の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 優良認定業者への処理委託の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 保管場所を指定した分別収集の実施
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の分別表を更新し、効率良く行える仕組みづくりを構築

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別記の通り	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】 別記の通り	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別記の通り	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】 別記の通り	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別記の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別記の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	処理委託業者が保有する処分場や処理施設について適正な処理が行われているか定期的に現地視察を行い確認している		

② 計画	【目標】別記の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	処理施設の現地視察を継続的に行う		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書の〔集計用シート〕

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら直接再生利用した量(t)		③ 自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ ④のうち熱回収を行った量(t)		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t)		⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)		⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		⑩ 直接及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)		(⑩＝①－②－③－④＋⑥－⑧－⑨＝⑩＋⑬＋⑭＋⑮＋⑯)																自ら再生利用を行った量(t)		③＋⑥ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	
																					委託先による区分								⑪ 優良認定処理業者への処理委託量(t)											
																					⑫ 再生利用業者への処理委託量(t)	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑮ その他の中間処理委託量(t)	⑯ 埋立処分委託量(t)															
法で定められている種類(シュレッダーダストなど、一体不可分のものについては、空欄行に記載してください。)	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量		①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量		①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量		④の量のうち熱回収を行った量		自ら中間処理を行った後の量		④の量から⑥の量を差し引いた量		⑥の量のうち、自ら利用し又は他人に売却した量		⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量		中間処理及び最終処分を委託した量		⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑭除く)		⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量		⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量		⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑮～⑯を除く)		⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量		⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量		②の量と⑧の量を合計したもの(自動計算)		③の量と③の量を合計したもの(自動計算)					
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標				
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	410.07	300.00																	410.07	300.00	408.82	300.00							1.25	0.0	410.07	300.00	0.0	0.0	0.0	0.0				
汚泥	340.79	247.0																	340.79	247.0	2.98	2.0	337.81	245.0					340.79	247.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
鋳さい	375.38	280.0																	375.38	280.0							375.38	120.0	375.38	280.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
木くず	40.39	30.0																	40.39	30.0	40.39	30.0							40.39	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
廃油	151.95	110.0																	151.95	110.0			138.40	100.0	13.55	10.0			151.95	110.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
廃プラスチック類	10.85	10.0																	10.85	10.0			10.85	8.0					10.85	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
混合廃棄物	18.23	10.0																	18.23	10.0							18.23	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0						
廃石綿	0.66	0.0																	0.66	0.0							0.66	0.0	0.66	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
																																0.0	0.0	0.0	0.0					
																																0.0	0.0	0.0	0.0					
																																0.0	0.0	0.0	0.0					
																																0.0	0.0	0.0	0.0					
合計	1,348.32	987.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,348.32	987.0	452.19	332.0	487.06	353.0	13.55	10.0	0.0	0.0	395.52	120.0	1,330.09	977.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。